



このたびは、Brother MIP-3010/3020 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前には、本書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

□ 免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ Brother MIP-3010/3020 は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

◆下記の製品が全て入っていることをご確認ください。

- MIP-3010/3020 本体
- AC アダプタ
- イーサネットケーブル
- 電話線
- CD
- かんたんご利用ガイド
- 保証書

■ お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

●Brother MIP-3010/3020 とは

Brother MIP-3010/3020 とは、クラウド PBXにてお使いいただける FAX 専用のルーター兼 VoIP アダプターです。

一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。

MIP-3010/3020のファームウェアは、バージョンを1.2.14以上をご利用下さい。

ファームウェアは、メーカーのWEBサイトよりダウンロードしてください。

<MIP-3010ファームウェア>

http://support.brother.co.jp/j/b/downloadlist.aspx?prod=es_mip3010jp&c=jp&lang=ja&os=96

<MIP-3020ファームウェア>

http://support.brother.co.jp/j/b/downloadlist.aspx?prod=es_mip3020jp&c=jp&lang=ja&os=96

ファームウェアのアップグレードには、メーカー提供のファームウェア更新ツールをご利用下さい。

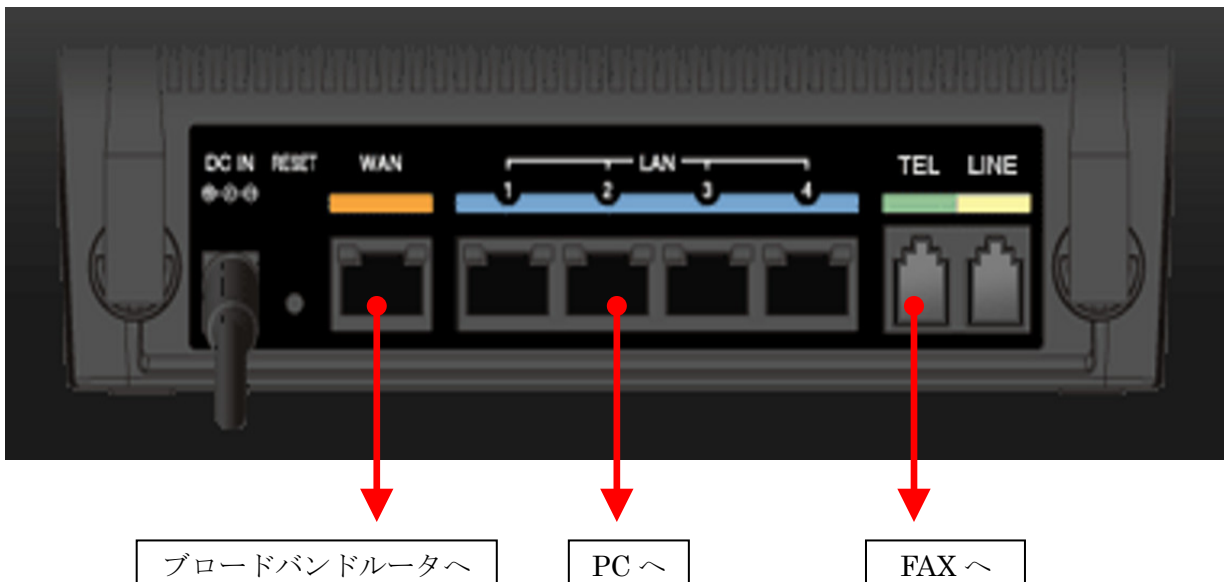
また、ファームウェアのアップグレードについては、メーカーのマニュアルをご参照下さい。

●接続方法

1. 本体の LAN ポートの 1～4 のいずれかに PC をつなげる。(PC は本体設定に使用します。)
2. 本体の WAN ポートにブロードバンドルーターからの LAN ケーブルをつなげる。
3. 本体の TEL ポートに FAX をつなげる。(LINE ポートは使用しません)
4. AC アダプタに取り付け、コンセントに差し込む。
5. AC アダプタを本体に差し込む。

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。接続してから使用ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

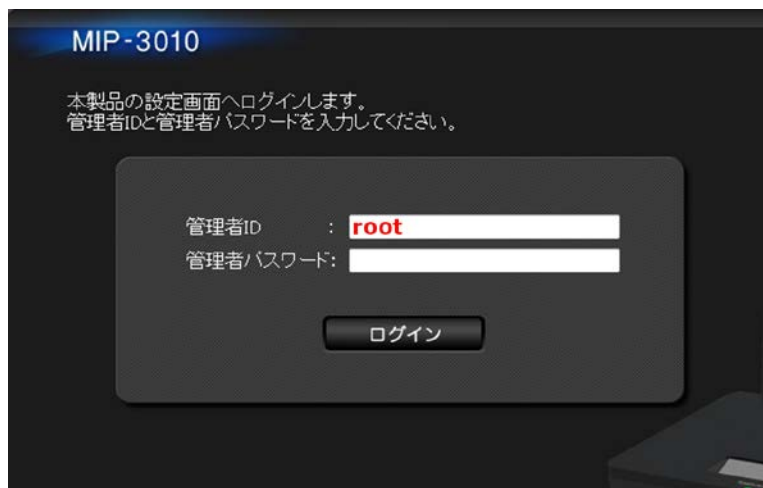
※ 必ず Brother MIP-3010 本体後側の WAN に、ルーターからのイーサネットケーブルを接続します。



Web ブラウザから、設定ページを開く。

BROTHER MIP-3010 の LAN ポートに接続された PC から、インターネットエクスプローラー等 web ブラウザを起動し、以下のように打ち込みます。

http://192.168.25.1/ （初期設定時）



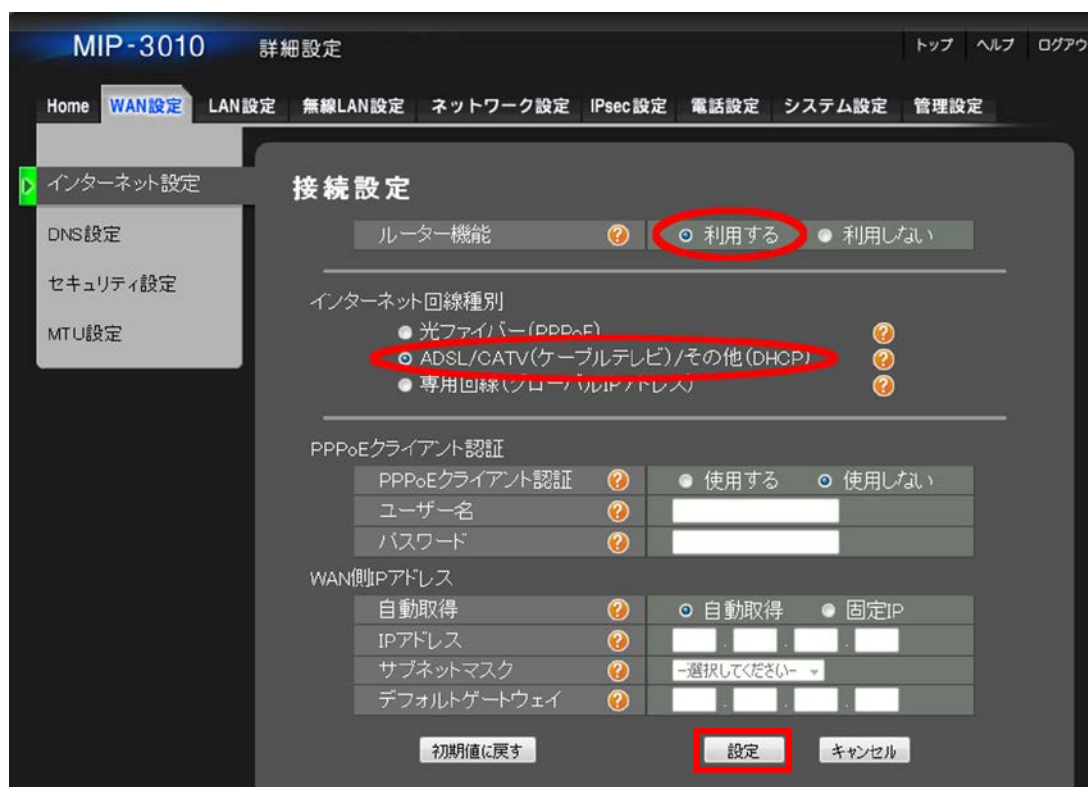
上記のようにログイン画面が表示されますので、管理者 ID に「root」と入力し、管理者パスワードは入力せずログインします。



詳細設定を選択します。

画面上部「WAN 設定」タブをクリックします。

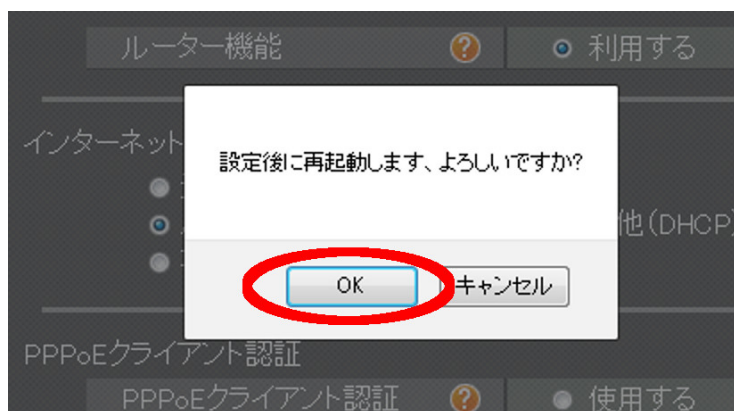
「インターネット設定」の設定



ルーター機能：「**利用する**」にチェックを入れます。

インターネット回線種類：「**ADSL/CATV (ケーブルテレビ) /その他 (DHCP)**」にチェックを入れます。

変更終了後、ページ最下部の「設定」をクリックして下さい。



再起動のメッセージが表示されるので再起動を選択します。再起動後に再度ログインします。

画面上部「システム設定」タブをクリックします。

「時刻設定」の設定

MIP-3010 詳細設定

Home WAN設定 LAN設定 無線LAN設定 ネットワーク設定 IPsec設定 電話設定 システム設定 管理設定

時刻設定

設定保存/復元
初期化/再起動
ファームウェア更新

時刻設定

自動 ?

NTPサーバーアドレス ?	<input type="text" value="ntp.jst.mfeed.ad.jp"/>
同期間隔 ?	<input type="text" value="12"/> 時間
タイムゾーン ?	<input type="text" value="(GMT+09:00) 東京、札幌、名古屋、大阪"/>

※本製品はNICT(<http://jij.nict.go.jp/index.html>)が提供しているNTPサーバーを初期値として設定しております。

手動 ?

現在の時刻
2012 年 1 月 1 日 01 時 29 分

設定する時刻
2012 年 1 月 1 日 0 時 0 分

時刻設定：「自動」にチェックを入れます。

NTP サーバーアドレス：「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。

タイムゾーン：「(GMT+09:00)東京、札幌、名古屋、大阪」を選択します。

変更終了後、ページ最下部の「設定」をクリックして下さい。

画面上部「電話設定」タブをクリックします。

「TEL 設定」の設定

MIP-3010 詳細設定 トップ ヘルプ ログアウト

Home WAN設定 LAN設定 無線LAN設定 ネットワーク設定 IPsec設定 **電話設定** システム設定 管理設定

LINE設定

TEL設定

アクセス許可設定

共通設定

TEL 設定

TEL設定	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
フッキング保留機能 ?	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ナンバーディスプレイ ?	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ダイヤル桁間タイマー ?	<input type="radio"/> 4秒 <input type="radio"/> 5秒 <input checked="" type="radio"/> 6秒
レジストラサーバー設定 ?	サーバーアドレス: ログインサーバ
	ポート番号: 5060
	認証ID: ユニーク
	パスワード: 端末パスワード
認証間隔:	3600 秒
プロキシサーバー設定 ?	サーバーアドレス: ログインサーバ
	ポート番号: 5060
SIPアカウント設定 ?	ディスプレイ名: ユニーク
	ユーザー名: ユニーク 最大20文字
	ドメイン名: ログインサーバ
	ポート番号: (空欄) 空欄の場合はランダム番号を使用(推奨)
RTPポート設定 ?	ポート番号: 5004
	転送用ポート番号: 5006

※[設定]ボタンをクリックすると、本製品を経由して行われている通話が切断されますのでご注意ください。

TEL 設定：「有効」にチェックを入れます。

ナンバーディスプレイ：「有効」にチェックを入れます。

レジストラサーバー設定内

サーバーアドレス：ログインサーバーを入力して下さい。

ポート番号：「5060」を入力して下さい。

認証 ID：ユニークを入力して下さい。

パスワード：端末パスワードを入力して下さい。※

※ パスワードの入力規則（3010、3020 同じ入力規則。ファームのバージョンでも差異無し）

- ・ 最大 30 文字
- ・ 半角英数大小文字
- ・ 記号は . (ドット) - (ハイフン) @ (アットマーク) _ (アンダースコア) & (アンパサント) + (プラス) = (イコール) の七文字

※ ! (エクスクラメーション) はご利用頂けませんのでご注意ください。

認証間隔：「3600」を入力して下さい。

プロキシサーバー設定内

サーバーアドレス：ログインサーバーを入力して下さい。

ポート番号：「5060」を入力して下さい。

SIP アカウント設定内

ディスプレイ名：ユニークを入力して下さい。

ユーザー名：ユニークを入力して下さい。

ドメイン名：ログインサーバーを入力して下さい。

ポート番号：空欄 にして下さい。

RTP ポート設定内

ポート番号：「5004」を入力して下さい。

転送用ポート番号：「5006」を入力して下さい。

変更終了後、ページ最下部の「設定」をクリックして下さい。

画面右上のログアウトを選択します。



上記のようにログイン画面が表示されますので、管理者 ID に「**hardcodeid**」管理者パスワードに「**hardcodepasswd**」と入力しログインします。

MIP-3010 トップ ヘルプ ログアウト

Configuration

SIP Settings

System Information

SIP Settings

Global

Flag ? Trace Flag: 0

FXS

Status	利用不可
CID	<input checked="" type="radio"/> Generate Caller ID <input type="radio"/> Not generate Caller ID
Registrar Server	URL: ログインサーバ
	Port Number: 5060
Proxy Server ?	URL: ログインサーバ
	Port Number: 5060
Client Domain ?	Client Domain Name: ログインサーバ
	Client Port Number:
User Info ?	Display Name: ユニーク
	User Name: ユニーク
	Auth Username: ユニーク
	Auth Password: 11111111
	Auth Expire: 3600 (s)
Echo Cancellor	Type: OFF
	NLP: ON

FXO

Status: 利用不可

[FXS]の項目の以下を設定します。

Echo Cancellor 内

Type : 「OFF」を選択して下さい。

NLP : 「ON」を選択して下さい。

Echo Cancellor

Type: Near-Far-End

NLP: OFF

Jitter Buffer

Jitter Buffer

Jitter Level: MIDDLE

Jitter Buffer Short ?

Type: Fixed Jitter Buffer

Packet adaptation for: Adapted for data (fax/modem)

Local adaptation for: OFF

Scaling: 8

Initial: 90 (ms)

Maximum: 180 (ms)

Minimum: 10 (ms)

Jitter Buffer Middle ?

Type: Fixed Jitter Buffer

Packet adaptation for: Adapted for data (fax/modem)

Local adaptation for: OFF

Scaling: 8

Initial: 90 (ms)

Maximum: 180 (ms)

Minimum: 10 (ms)

Jitter Buffer Long ?

Type: Fixed Jitter Buffer

Packet adaptation for: Adapted for data (fax/modem)

Local adaptation for: OFF

Scaling: 8

Initial: 90 (ms)

Maximum: 180 (ms)

Minimum: 10 (ms)

VOLUME

phone_volume_rx_for_talk: -4 (db)

phone_volume_tx_for_talk: 0 (db)

「SIP Setting」の設定

[Jitter Buffer] の項目の以下を設定します。

Jitter Buffer 内

Jitter Level : 「**MIDDLE**」を設定して下さい。

Jitter Buffer Short 内

Type : 「**Fixed Jitter Buffer**」を設定して下さい。

Packet adaptation for : 「**Adapted for data (fax/modem)**」を設定して下さい。

Local adaptation for : 「**OFF**」を設定して下さい。

Scaling : 「**8**」を設定して下さい。

Initial : 「**90**」を設定して下さい。

Muximum : 「**180**」を設定して下さい。

Minimum : 「**10**」を設定して下さい。

Jitter Buffer Middle 内

Type : 「**Fixed Jitter Buffer**」を設定して下さい。

Packet adaptation for : 「**Adapted for data (fax/modem)**」を設定して下さい。

Local adaptation for : 「**OFF**」を設定して下さい。

Scaling : 「**8**」を設定して下さい。

Initial : 「**90**」を設定して下さい。

Muximum : 「**180**」を設定して下さい。

Minimum : 「**10**」を設定して下さい。

Jitter Buffer Long 内

Type : 「**Fixed Jitter Buffer**」を設定して下さい。

Packet adaptation for : 「**Adapted for data (fax/modem)**」を設定して下さい。

Local adaptation for : 「**OFF**」を設定して下さい。

Scaling : 「**8**」を設定して下さい。

Initial : 「**90**」を設定して下さい。

Muximum : 「**180**」を設定して下さい。

Minimum : 「**10**」を設定して下さい。

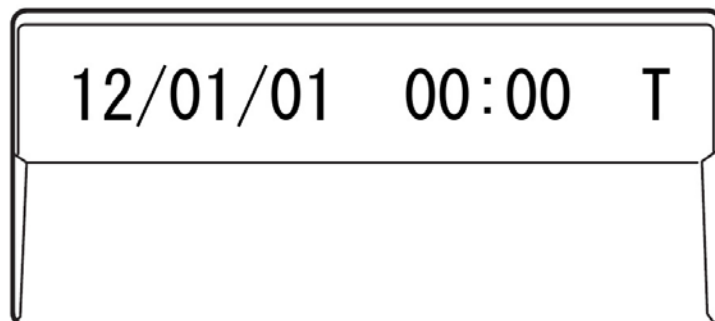
変更終了後、ページ最下部の「Submit」をクリックして下さい。

●接続の確認をする。

すべての設定が完了し接続に問題がない場合、本機の液晶画面に通常待受時に日時を表示され、

その右側に「T」のマークが表示されるようになります。

「T」マークは、MIP-3010/3020 の設定画面をログアウトすると表示されます。ログアウト前は、「T」マークは表示されません。



安全にお使いいただくために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



警告

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。












注意

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。









警告

-  煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く
そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
-  分解・改造しない
火災・感電・故障の原因となります。
-  開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない
万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
-  内部に水や異物を入れない
水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
-  故障や異常状態のまま使用しない
火災・感電の原因となります。
-  雷が発生したときは、本機に触れない
感電の原因となります。
-  風呂やシャワー室では使用しない
火災・感電・故障の原因となります。
-  本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
-  水などで濡らさない
本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



注意

-  調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  直射日光の当たるところに置かない
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多いところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない
故障の原因となることがあります。
-  不安定な場所や振動の多いところに置かない
落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
-  受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う
受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは弊社にてお問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。（数回行ってください） 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は弊社までご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し（再起動）してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

●初期化方法

本体背面のACアダプタ接続口横の「RESET」を細いペン先のようなもので押しながら、ACアダプタを接続して下さい。

液晶ディスプレイに「ショキカチュウ」と表示されるまでRESETボタンを押し続けて下さい。

初期化しますと、お客様で設定した内容は全て削除され、全ての設定内容が工場出荷時の初期値に戻ります。